



Hakuyosha
CLEAN LIVING



2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月26日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 白洋舎
コード番号 9731 URL <http://www.hakuyosha.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)松本 彰
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己 (TEL)03(5732)5111
四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 2018年9月25日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績(2018年1月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	25,712	0.7	1,100	△17.7	1,096	△22.4	665	△37.2
2017年12月期第2四半期	25,544	4.6	1,337	12.0	1,411	30.2	1,060	5.7

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 632百万円 (△52.9%) 2017年12月期第2四半期 1,342百万円 (111.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	174.85	—
2017年12月期第2四半期	277.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第2四半期	39,766	10,911	25.8
2017年12月期	37,749	10,411	25.8

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 10,269百万円 2017年12月期 9,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2018年12月期	—	25.00	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2 2017年12月期期末配当金の内訳 特別配当 10円

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日~2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,800	0.1	1,350	1.0	1,450	△1.7	800	△23.8	210.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ___社(社名) 、除外 ___社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年12月期2Q	3,900,000株	2017年12月期	3,900,000株
2018年12月期2Q	90,448株	2017年12月期	91,914株
2018年12月期2Q	3,808,506株	2017年12月期2Q	3,818,110株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年1月1日～6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や個人所得の改善が進み、景気は緩やかな回復基調にあります。一方、海外経済の不確実性等を背景に、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、「CLEAN LIVING 2020」をテーマとする新中期経営計画(2018年から3ヵ年)をスタートさせ、「人々の清潔で快適な生活空間づくり」に貢献するための成長戦略の遂行や構造改革等に努めております。

当社グループの売上高は257億1千2百万円(前年同四半期比0.7%増)となりましたが、人件費や生産設備増強に伴う減価償却費の増加等により、営業利益は11億円(前年同四半期比17.7%減)、経常利益は10億9千6百万円(前年同四半期比22.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千5百万円(前年同四半期比37.2%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<クリーニング>

個人向けのクリーニング事業については、中長期的に需要が減少する傾向にある中、「新規のお客さまを増やす・継続してご利用いただく・より多くご利用いただく」ことを目的とし、お客さまから直接ご意見を頂戴する懇談会を開催する等、お客さまの声を聴く活動を推進しております。

本年6月からは、電気料金や人件費等の上昇を背景に、主要なクリーニング品目について、11年ぶりの値上げを実施いたしました。併せて「品質保証新宣言」を発表し、より一層の品質・サービスの向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間においては、前第2四半期連結累計期間に比べ早期に衣替えが始まりましたが、需要の増加にはつながらず、クリーニング事業の売上高は126億4百万円(前年同四半期比0.1%減)、セグメント利益(営業利益)は9億9千4百万円(前年同四半期比1.0%減)となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、ホテル・レストラン等に向けたリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等に向けたユニフォームレンタル部門とに大別されます。

リネンサプライ部門については、取引先ホテルの休館等の影響はありましたが、都心における高級ホテルの稼働が堅調に推移したこと等により、増収となりました。

ユニフォームレンタル部門については、ナショナルチェーンや食品関連企業からの需要の増加等が、売上増に寄与しました。

これらの結果、レンタル事業の売上高は115億4千5百万円(前年同四半期比2.7%増)となりましたが、工場設備の増強等に伴う減価償却費の増加や、人件費、運送費、光熱費等の上昇等から、セグメント利益(営業利益)は7億6千6百万円(前年同四半期比16.0%減)となりました。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。

前第2四半期連結累計期間において、連結子会社が保有する土地に関する借地権の更新料収入を計上したこと等から、不動産事業の売上高は3億8千7百万円(前年同四半期比19.8%減)、セグメント利益(営業利益)は1億8千3百万円(前年同四半期比33.1%減)となりました。

<その他>

その他事業については、連結子会社においてクリーニング機械の売上が減少したこと等から、その他事業の売上高は24億7千4百万円(前年同四半期比6.6%減)、セグメント利益(営業利益)は、1億8百万円(前年同四半期比14.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億1千6百万円増加し、397億6千6百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加14億4千9百万円等により18億7千3百万円増加し、153億9千8百万円となりました。

固定資産は、土地の増加1億7千4百万円等により1億4千3百万円増加し、243億6千7百万円となりました。

また、流動負債は、未払法人税等の増加2億6千5百万円等により3億7千8百万円増加し、127億5千万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加13億8千2百万円等により11億3千8百万円増加し、161億4百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加5億2千9百万円等により5億円増加し、109億1千1百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末と同様の25.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益10億8千7百万円、減価償却費7億1千8百万円、仕入債務の増加1億7千4百万円、法人税等の支払額1億7千2百万円等により13億6千5百万円の収入(前年同四半期比2.7%増)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出6億8千7百万円等により8億1千万円の支出(前年同四半期比91.9%増)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入れによる収入77億8千2百万円、長短借入金の返済による支出63億3千9百万円、リース債務の返済による支出3億7千7百万円等により9億5百万円の収入(前年同四半期は8億3千7百万円の支出)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ14億5千2百万円増加し、24億2千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2018年2月14日に発表いたしました2018年12月期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	983	2,432
受取手形及び売掛金	4,617	4,630
たな卸資産	6,908	7,114
繰延税金資産	227	232
その他	818	1,018
貸倒引当金	△30	△29
流動資産合計	13,525	15,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,760	20,859
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,221	△14,393
建物及び構築物(純額)	6,538	6,466
機械装置及び運搬具	9,761	9,796
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,291	△7,316
機械装置及び運搬具(純額)	2,469	2,480
土地	6,705	6,879
その他	4,740	4,896
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,328	△3,484
その他(純額)	1,412	1,412
有形固定資産合計	17,125	17,238
無形固定資産	534	617
投資その他の資産		
投資有価証券	3,487	3,422
差入保証金	1,709	1,699
繰延税金資産	1,293	1,313
その他	167	171
貸倒引当金	△94	△94
投資その他の資産合計	6,563	6,511
固定資産合計	24,224	24,367
資産合計	37,749	39,766

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,138	3,311
短期借入金	2,649	2,460
1年内返済予定の長期借入金	2,710	2,946
1年内償還予定の社債	45	45
未払法人税等	322	588
賞与引当金	224	255
その他の引当金	22	22
その他	3,259	3,122
流動負債合計	12,372	12,750
固定負債		
社債	72	50
長期借入金	7,362	8,744
役員退職慰労引当金	39	35
役員株式給付引当金	58	66
環境対策引当金	63	61
退職給付に係る負債	3,314	3,303
資産除去債務	267	274
その他	3,786	3,568
固定負債合計	14,965	16,104
負債合計	27,338	28,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	4,744	5,274
自己株式	△294	△290
株主資本合計	8,363	8,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,127	1,089
為替換算調整勘定	△26	△44
退職給付に係る調整累計額	292	327
その他の包括利益累計額合計	1,394	1,372
非支配株主持分	653	642
純資産合計	10,411	10,911
負債純資産合計	37,749	39,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
売上高	25,544	25,712
売上原価	21,157	21,555
売上総利益	4,386	4,156
販売費及び一般管理費	3,049	3,056
営業利益	1,337	1,100
営業外収益		
受取配当金	26	28
受取補償金	42	44
為替差益	54	-
その他	88	88
営業外収益合計	211	160
営業外費用		
支払利息	116	109
持分法による投資損失	4	8
リース解約損	5	8
為替差損	-	31
その他	10	7
営業外費用合計	136	165
経常利益	1,411	1,096
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産処分損	6	8
特別損失合計	6	8
税金等調整前四半期純利益	1,406	1,087
法人税、住民税及び事業税	534	452
法人税等調整額	△230	△27
法人税等合計	303	425
四半期純利益	1,102	661
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,060	665

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,102	661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	△38
為替換算調整勘定	44	△26
退職給付に係る調整額	70	34
持分法適用会社に対する持分相当額	50	2
その他の包括利益合計	239	△28
四半期包括利益	1,342	632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,289	644
非支配株主に係る四半期包括利益	52	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,406	1,087
減価償却費	700	718
有形固定資産除却損	5	7
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	31	31
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△4
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	13	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	104	38
受取利息及び受取配当金	△26	△28
支払利息	116	109
為替差損益(△は益)	△55	32
持分法による投資損益(△は益)	4	8
売上債権の増減額(△は増加)	134	△22
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130	△138
仕入債務の増減額(△は減少)	△278	174
未払消費税等の増減額(△は減少)	157	△108
その他	△297	△307
小計	1,885	1,609
利息及び配当金の受取額	26	36
利息の支払額	△116	△108
法人税等の支払額	△466	△172
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329	1,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△346	△687
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△55	△104
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	△18	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△422	△810

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,173	4,813
短期借入金の返済による支出	△4,450	△5,002
長期借入れによる収入	1,200	2,969
長期借入金の返済による支出	△1,274	△1,337
社債の発行による収入	100	-
社債の償還による支出	△30	△22
自己株式の取得による支出	△60	△0
リース債務の返済による支出	△360	△377
配当金の支払額	△136	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△837	905
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89	1,452
現金及び現金同等物の期首残高	1,570	975
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,660	2,427

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	12,612	11,245	483	24,340	2,648	26,989	△1,445	25,544
セグメント利益	1,004	912	274	2,191	126	2,317	△980	1,337

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△980百万円には、セグメント間消去39百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,020百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	12,604	11,545	387	24,537	2,474	27,012	△1,299	25,712
セグメント利益	994	766	183	1,944	108	2,052	△952	1,100

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△952百万円には、セグメント間消去39百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△991百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。